
folklore

須臣 或

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

folklore

【Nコード】

N7279Y

【作者名】

須臣 或

【あらすじ】

悲嘆に暮れて泣く。調べても調べても方法は見つからない。帰る道すら示されない。泣く。泣く。泣き続ける彼女と罪悪感に潰される寸前の国の重役達。

monologue

民話、童話、伝説、神話、世間話に与太話、は少し違うか。とりあえず、気になったことは片っ端から調べてきた。この奇妙な経験を少しでも活かして、すぐにでも消してしまいたい記憶を探って、僅かなでもいい、手がかりになりはしないかと探し続けた。しかし見つからない。見つかる筈もない。世の中でありはしないとされている、存在しないと断言されているものが、そう易々と見つかる訳がないとは思ってはいるが、それでもいつかは見つかる、見つかる筈、見つかつてほしいと願っていた。求めていた、冀求していた。そのいつかがいつなのかはわからない、それでも約定が欲しかった。求め続ければいつか必ず見つかるかと保証が欲しかった。しかし、そんなものをいつたい誰がくれるだろう。存在するかもわからないものが、きつといつか見つかる、そんな確約もできないことを保証してくれる人間が、いつたいどこに存在するのだろうか。同情でもなく、哀れみでも情けでもなく、ただ確実な保証として言葉をくれる人間はここにはいない。どこにもいない。

私はただ方法が欲しかった。ここではない、どこかも分からない場所へ行く方法、還る方法、戻る方法が欲しかった。私が生きている場所はここ、立っている場所はここ。今この瞬間に存在している場所がここだということとは重々理解している。でも納得はしていない。できる筈もない。私が私であることの証明として必要なものが何一つないこの場所が、私がいるべき立ち位置ある筈がない。

行き方も帰り方もわからない場所がある筈もないというけれど、それなら私はいつたいどこから来たという。どこへ行くというのか。私が求める場所は存在しない。私が今立っている場所も私の居場所ではない、それなら私はどこでなら安心して眠れるのか。何もいらない、何もいらぬ。昔のような暖かい布団も、雨風を防げる家屋も、質素とは無縁である食事も、何もいらぬ。何もいらぬから、

ただひとつ、私をあの場合に返して。お願いします。あの安心できる、ただひとつの存在の隣に私を返して下さい。まだ未成熟な私が唯一生きていけるあの場所に、私を返して下さい。

泣いて、泣いて、泣いて泣いて泣いて、枯れるほどに泣いてもまだ泣く。まだ泣けることは不思議じゃない。必要最低限に取っている食事と水分のおかげで、私はまだ潤っている。

泣きすぎて、頬を伝う感覚すら分からなくなってきた頬を、また伝う。流れすぎて頬をが削れてしまったのか。ずっと同じ道を辿って水が流れる。

私はただ帰りたいかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7279y/>

folklore

2011年11月22日03時58分発行